

DV 被害当事者の自立支援に関するアンケート調査

ご記入にあたってのお願い

1. このアンケートの対象は、以下に該当する方です。
同居している恋人・パートナー・配偶者からDVを受けたことがあり、同居していた家を出て(あるいは相手が家を出て)、今は相手と住まいを別にしている方。※一時保護中の方は対象となりません。
2. DVにあたる暴力とは身体的なものに限らず、おどす、ののしる、あなたが恐怖を感じるようなことを言う、あなたの価値を否定するようなことを言う、あるいは、周囲とあなたの関係を断ち切ろうとする、仕事をさせない、生活費を渡さない、金銭を細かく管理してあなたの自由に使わせない、性的な関係を無理やりせまる等も含まれます。
3. 複数の相手からDVを受けている場合は、直近の相手についてお答えください。
4. このアンケートにお名前を記入する必要はありません。個人の秘密は守られますので、思ったことをありのままにご記入ください。記入済みのアンケート用紙等は調査者が責任をもって扱い、公表にさいしては、協力いただいた方が特定されないようにします。なお、調査への協力の有無により、不利益を受けることはありません。また、今回の調査で得られた情報は、この調査以外の目的に使用しません。
5. この調査は、DV被害当事者の新しい生活に必要なものを明らかにし、それによって社会的な制度や私たちのサポート内容が充実していくことを目的としています。
6. このアンケートに答えることで、被害体験を思い出すかもしれません。途中でしんどくなったら無理せず、書けるところだけ書いて返送してください。また、答えたくない項目は書かなくても結構です。
7. ご記入にさいしては、該当する番号に○印をつけてください。「その他」に当てはまる場合には、()内に具体的な内容を記入してください。また、自由意見欄はご自由にご記入ください。
8. 調査にご協力いただける方は、アンケート用紙に回答を記入の上、返信用封筒に入れて、

2009年1月20日(火)までにポストに入れてください。(切手不要です。)

◆ この調査に関するお問い合わせ先

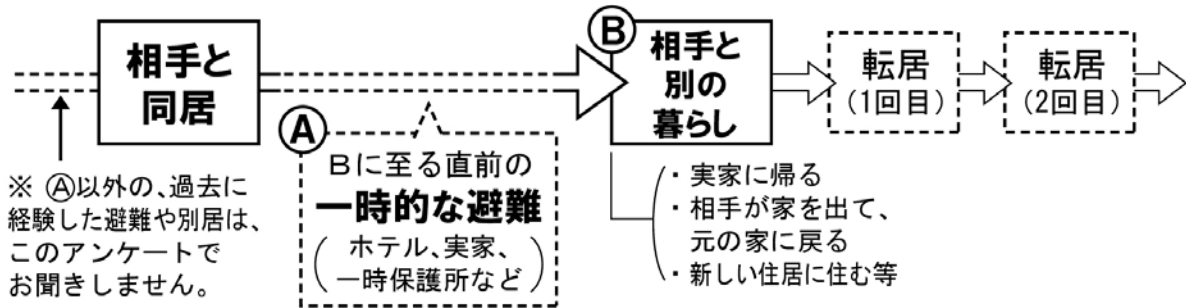
090-9629-4847 (いくの学園 月～金 12～17時)(この番号は、相談電話も兼ねています)

※調査結果をお知りになりたい場合もご連絡ください。

この調査は、民間のDV被害者支援団体「NPO 法人いくの学園」が、「三菱財団社会福祉事業助成」を得て実施するもので、統計処理等を株式会社オフィス・オルタナティブに委託しています。

相手と離れて、別に暮らすようになった当時の状況についてお聞きします。

暴力をふるった相手と離れて暮らすにあたって、実家に戻る、新しい住居を構える、相手が家を出たので元の家に戻る等、さまざまな形があります。あなたが、どのような経緯で相手と離れて暮らすようになったのかお聞かせください。（下の図を参照してください。）



問 1-① 図Aのように相手と離れて暮らす直前に、実家やホテル、シェルター等に一時的に避難しましたか。（1つに○）

1. 避難した
2. 避難していない

問 1-② 避難した場所は？（図のAに当てはまるもの全てに○）

1. シェルター（一時保護所）
2. 実家・きょうだい・親戚宅
3. 友人・知人宅
4. ホテルや旅館
5. その他（ ）

問 1-③ その避難の期間は合わせてどのくらいですか。

（約 ）週間

問 2 図Bの暮らしをはじめてから、どのくらい経ちますか。一時避難した方は、その期間を含まずお答えください。（1つに○）

- | | | |
|------------|------------|-------------|
| 1. 半年未満 | 3. 1年～3年未満 | 5. 5年～10年未満 |
| 2. 半年～1年未満 | 4. 3年～5年未満 | 6. 10年以上 |

問 3-① 図Bについて、当てはまるものはどちらですか。（1つに○）

1. 相手が家を出たので、元の家に戻った（→問4へ）
2. あなたが家を出た

問 3-② 図Bの住まいはどこですか？（1つに○）

1. 実家・きょうだい・親戚宅
2. 友人・知人宅
3. 民間賃貸住宅
4. 公営住宅
5. 母子生活支援施設
6. 婦人保護施設
7. シェルターの長期利用（ステップハウス）
8. その他（ ）

問 3-③ 図Bの住まいと、相手と同居していた住まいの位置関係は？（1つに○）

1. 同一市内
2. 同一県内
3. 県外
4. 国外

問 3-④ 図Bの暮らしをはじめるとあって、引っ越しの費用や住宅の契約料金など、必要な費用はどうしましたか。(当てはまるもの全てに○)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 貯金など自分のお金でまかなった | 5. 銀行・郵便局からお金を借りた |
| 2. 身内の援助を受けた | 6. 公的な貸付金を借りた |
| 3. 友人からお金を借りた | 7. 生活保護を利用した |
| 4. 消費者金融(サラ金)からお金を借りた | 8. その他 () |

問 3-⑤ それは全部でどの程度の金額ですか? (約 円)

問 3-⑥ 図Bの暮らしをはじめると時に、住まい探して困ったことがあれば、当てはまるもの全てに○をつけてください。

【住宅を探した方】

1. 公営住宅に入りたかったが、すぐに入れる見込みがなかった
2. 自分の収入でまかなえる家賃の物件が少なかった
3. お金がなかったので、生活保護を申請しようとしたができなかった
4. 生活保護の範囲で借りられる物件が少なかった
5. 遠くの地域で住居を探すのに、情報が得にくかった
6. 保証人がいなかった
7. 不動産屋へひとりで行くことが不安だった
8. 不動産屋で事情を説明しづらかった。または、事情を詮索されて困った
9. 無職を理由に住居が借りられなかった
10. 入居差別にあった(母子家庭、生活保護、国籍、年齢、障がい等を理由に断られた)

【母子生活支援施設について】(母子の方)

11. 母子生活支援施設に入りたかったが、相談員にできないと言われた
12. 母子生活支援施設がどんな施設か、詳しく教えてもらえなかった
13. 住みたい地域に母子生活支援施設がなかった
14. 希望する母子生活支援施設に入れなかった
15. 母子生活支援施設は限定されるので、相手に見つかるのではないかと不安だった

【その他(自由記述)】

問4-① 2ページの図Bから、転居しましたか。(1つに○)

1. 転居していない 2. 転居した

問4-② 転居後の住まいについて、当てはまる番号を()に記入してください。

1回目の転居() → 2回目() → 3回目() → 4回目() → 5回目()

1. 実家・きょうだい・親戚宅 2. 友人・知人宅 3. 民間賃貸住宅 4. 公営住宅
5. 母子生活支援施設 6. 婦人保護施設 7. 民間シェルター 8. 持ち家 9. その他

問5-① 相手はあなたと別に暮らしてからも、あなたに連絡をしたり親戚・友人宅に連絡、訪問をして、あなたの状況や居場所を聞き出そうとしましたか。(1つに○)

1. はい 2. いいえ (→問6へ) 3. わからない (→問6へ)

問5-② その具体的な内容はどのようなものでしたか。(当てはまるもの全てに○)

1. あなたに、電話・FAX・メール・手紙が来た 6. 子どもの保育所・学校等に連絡、または訪問した
2. 実家や友人宅に連絡、または訪問した 7. 興信所・探偵等を使った
3. あなたの住まいを訪れた 8. その他
4. あなたの職場を訪れた ()
5. 行政等支援機関に連絡、または訪問した

問5-③ 相手から連絡や訪問があり、そのために転居したことがありますか(1つに○)

1. ある 2. ない

問6 あなたはこれまで、新しい住まいが相手に知られないように何か工夫しましたか。(当てはまるもの全てに○)(相手があなたの住まいを知っていて、工夫する必要のなかった方は、問7へ。)

1. 相手の知らない地域へ住居をかまえる
2. 住民票の非開示請求をする
3. 住民票を移動しない、または住民票を現住所と違う所におく
4. 国民年金等の住所秘密保持手続きをする
5. 社会保険に加入せずに済むような仕事をする
6. 免許証の更新をあきらめる
7. 免許証を遠隔地で更新する
8. 職場や学校等で偽名を使って生活する
9. ガスや電気等の契約について、家族・友人等に名義人になってもらう
10. 電話の契約について、家族・友人等に名義人になってもらう
11. 固定電話に加入しない
12. ビデオレンタルなど、全国チェーンの店舗のカードを作らない
13. 子どもの学校を転出せずおいておく
14. その他 ()
15. 気をつけたことは特にない

問7 DVや別居後の生活等について、これまで誰かに相談しましたか（「相談した」欄の数字に○）。また、その人の対応について、「良い」「普通」「悪い」に○をつけてください。悪い対応とは、傷つくような言葉を言ったり、あなたの安全が守れないような対応のことです。

	相談した	良い	普通	悪い
1. 自分の親・きょうだい・親戚	1	1	2	3
2. 自分の子ども	2	1	2	3
3. 友人	3	1	2	3
4. 職場の人	4	1	2	3
5. 子どもの保育所・学校等の教職員	5	1	2	3
6. 警察官	6	1	2	3
7. 女性センター（男女共同参画センター）の相談員	7	1	2	3
8. 母子やDVの相談担当など行政の職員	8	1	2	3
9. 生活保護の担当者	9	1	2	3
10. 公的シェルターの職員	10	1	2	3
11. 民間シェルターや民間支援団体のスタッフ	11	1	2	3
12. 弁護士	12	1	2	3
13. 病院等医療機関の医師・看護師・相談員	13	1	2	3
14. 母子生活支援施設の職員	14	1	2	3
15. その他（ ）	15	1	2	3
16. 誰にも相談していない	16	1	2	3

良い、または悪い対応の、具体的な内容について教えてください。（誰がどのような対応をしたか）

問8-① あなたと相手の婚姻（法律婚）関係の有無についてお聞きします。（1つに○）

1. 相手と婚姻関係ではなかった（→問9へ）
2. 相手と婚姻関係である（→問8-②へ）
3. 相手と婚姻関係であったが、すでに離婚した（→問8-③へ）

問8-② 現在の状況はどのようなものですか。（1つに○）

1. 離婚について話し合っている
2. 調停をしている
3. 裁判をしている
4. 離婚については別居して様子を見る
5. 婚姻を継続する

問8-③ どのような方法で離婚が成立しましたか。（1つに○）

1. 協議離婚（話し合いや、誰かの仲介で）
2. 調停離婚
3. 裁判離婚
4. その他（ ）

問 9-① 相手との関係等について、弁護士に相談したことがありますか。(1つに○)

- 1. 相談して、依頼した → 問 9-②へ
- 2. 相談したことはあるが、依頼はしなかった → 問 9-⑤へ
- 3. 相談も依頼もしていない → 問 10 へ

問 9-② 依頼内容はどのようなものでしたか。(当てはまるもの全てに○)

- 1. 保護命令(退去命令・接近禁止命令) 2. 婚姻費用の分担請求 3. 離婚 4. 年金分割
- 5. 子どもの親権・監護権・面接・養育費等 6. 借金 7. 離婚後の慰謝料請求・財産分与
- 8. その他 ()

問 9-③ 弁護士費用は全部でどの程度かかりましたか。(約 万円)

問 9-④ 法律扶助制度を利用しましたか。(1つに○)

- 1. 全部の弁護士費用について利用した 3. 利用していない
 - 2. 一部の弁護士費用について利用した 4. 法律扶助制度を知らなかった
- ↓ 続いて⑤へ

問 9-⑤ どのように弁護士を探しましたか。(当てはまるもの全てに○)

- 1. 市町村の無料相談 2. 女性センター(男女共同参画センター)の無料相談
- 3. 法テラスの紹介 4. 民間支援団体の紹介 5. 家族・親戚・知人等の紹介
- 6. 本やインターネットで調べて 7. その他 ()

問 10-① 相手の暴力について、保護命令(退去命令・接近禁止/2001年10月より施行)を申し立てましたか(1つに○)

- 1. 当時は保護命令がなかった(→問 11 へ) 3. 申し立てた(→問 10-②へ)
- 2. 保護命令を知らなかった(→問 11 へ) 4. 申し立てなかった(→問 10-③へ)

問 10-② 保護命令は役に立ちましたか?また、その理由を教えてください。(1つに○)

- 1. 役に立った 2. 役に立たなかった 3. どちらとも言えない
- その理由 []

問 10-③ 申し立てなかった理由について当てはまるもの全てに○をつけてください。

- 1. 保護命令の対象ではなかった 5. 相手の反応が怖かった
- 2. 保護命令の対象だったが、発令は難しいと言われてあきらめた 6. 精神的に余裕がなかった
- 3. 保護命令は役に立たないと思った 7. 必要がなかった
- 4. 手続きが複雑でできなかった 8. その他 ()

問 11-① 調停・裁判をされた方、保護命令を申し立てた方にお聞きします。(されていない方は問 12 へ)あなたが困ったこととして、当てはまるもの全てに○をつけてください。

- 1. 制度がわかりづらかった 6. 裁判所の帰りに後をつけられそうで不安だった
- 2. 弁護士費用等の工面に困った 7. 調停等が近づくと、心身の調子を崩した
- 3. 調停や裁判が長くて困った 8. 必要な通訳・翻訳費用が自己負担だった
- 4. よい弁護士が見つからず困った 9. その他 ()
- 5. 裁判所で相手と会うかもしれず怖かった 10. 特に困ったことはない

問 11-② 調停員・裁判官の対応等、裁判所で困った経験があれば、教えてください。

問 12-① 現在の、あなたの収入源について教えてください。(当てはまるもの全てに○)

1. 就労による収入
2. 生活保護
3. 児童扶養手当
4. 児童手当
5. 老齢年金
6. 障害年金
7. 実家や身内からの援助
8. 子どもへの養育費
9. 相手から送金される慰謝料または生活費
10. 失業保険
11. 傷病手当
12. 貯蓄を切り崩している
13. その他 ()

※問 12-①で「1. 就労による収入」と回答された方は問 12-②へ。その他の方は、問 13 へ。

問 12-② 現在の仕事の形態はどのようなものですか。(当てはまるもの全てに○)

1. 正社員
2. 正社員以外の派遣・アルバイト・パート
3. 自営業・フリーランス
4. 内職
5. その他 ()

問 12-③ 現在の1週間の就労時間はどの程度ですか。(約) 時間

問 12-④ 現在の就労による月収は? (1つに○)

1. 5万円未満
2. 5～10万円未満
3. 10～15万円未満
4. 15～20万円未満
5. 20～25万円未満
6. 25～30万円未満
7. 30万円以上

問 13 問 12-①で「1. 就労による収入」「12. 貯蓄を切り崩している」以外に○をつけた方(生活保護、児童扶養手当等)、その1ヶ月の総額は平均どれくらいですか。(1つに○)(ない方は問 14 へ)

1. 5万円未満
2. 5～10万円未満
3. 10～15万円未満
4. 15～20万円未満
5. 20～25万円未満
6. 25～30万円未満
7. 30万円以上

問 14 現在の収入は、あなたの生活にとって十分なものですか。(1つに○)

1. 充分である
2. 充分ではないが、無理せず生活できるだけの収入はある
3. 充分ではないので、かなり切り詰めている

問 15-① 相手と同居していた時、あなたは働いていましたか。(1つに○)

1. 働いていた →
2. 働いていなかった (→問 16 へ)

問 15-② その時の仕事の形態はどのようなものでしたか。(当てはまるもの全てに○)

1. 正社員
2. 正社員以外の派遣・アルバイト・パート
3. 相手と一緒に自営業
4. あなた個人の自営業・フリーランス
5. 内職
6. その他 ()

問 15-③ その時の1週間の就労時間はどの程度でしたか。(約) 時間

問 15-④ その時の就労による月収はどの程度でしたか。(1つに○)

1. 無収入 2. 5万円未満 3. 5～10万円未満 4. 10～15万円未満
5. 15～20万円未満 6. 20～25万円未満 7. 25～30万円未満 8. 30万円以上

問 15-⑤ その時の仕事は今でも続けていますか。(1つに○)

1. 続けている 2. 相手の追跡から逃れるために辞めた
3. その他の理由で辞めた(理由: _____)

問 16-① 相手と離れて暮らすようになってから現在までの、借金についてお聞きします。(1つに○)

1. 現在、借金がある(法律扶助の返済等も含む) → 問 16-②へ
2. 借金があったが、今は全て返済した → 問 16-②へ
3. 借金は以前も今もない → 問 17へ

問 16-② 借金の内容はどのようなものですか。(当てはまるもの全てに○)

1. 相手と同居時の生活費等 2. 新しい住居や、家具・家電の費用 3. 現在の生活費
4. 法律扶助の返済 5. あなたの学校や資格等にかかわる費用(教育ローン等)
6. 子どもの保育料や、学校の給食代等の未払い 7. 子どもの学校の入学費、授業料等
8. 住宅ローン 9. その他(_____)

問 17 相手と別に暮らすようになってから、収入や仕事について困ったこと(今も困っていること)についてお聞きします。(当てはまるもの全てに○)

子どものいる方

	困ったことがある	今も困っている
1. 生活保護が受けられない	1	1
2. 収入が低い	2	2
3. 仕事が見つからない	3	3
4. 働いた経験がないので就職が不安	4	4
5. どのように就職・転職活動をすればよいかわからない	5	5
6. 就職・転職に必要な技能(パソコン操作など)や資格がない	6	6
7. 就職・転職に必要な保証人がいない	7	7
8. 就職差別がある(母子家庭であること、生活保護、国籍、年齢、障がい等を理由に仕事を断られた)	8	8
9. 面接等、会社に事情を説明しづらい	9	9
10. 働けるほど身体的・精神的に回復していない	10	10
11. 職場での大声等に過敏に反応して、対人関係が難しい	11	11
12. 社会保険や雇用保険に加入するのが怖い	12	12
13. 離婚していないので児童扶養手当がもらえない	13	13
14. 離婚していないので、貸付金や就労支援等、母子家庭のための制度が使えない	14	14
15. 保育所や学童保育所の空きがない、または保育時間が短くて働けない	15	15

その他に収入や仕事について困った（困っている）ことがあれば教えてください。

問 18 相手と同居中から現在までの、あなたの精神と身体の状態をお聞きます。当てはまるもの全てに○をしてください。また、A・B・Cのいずれにも該当する場合は、3つに○をしてください。

	A. 相手と同居中に経験	B. 別居してから経験	C. 現在ある
1. 眠れない	1	1	1
2. 食欲がない	2	2	2
3. 気分が沈むことが多い	3	3	3
4. イライラする	4	4	4
5. 電車に乗れない、または、人ごみが怖い	5	5	5
6. 大きな声や音が怖い（チャイムや電話音も含む）	6	6	6
7. 過呼吸をおこす	7	7	7
8. 死にたいと思う	8	8	8
9. 離れているのに、相手が何をしているのか気になる	9	9	9
10. 相手からの暴力を何度も思い出す	10	10	10
11. 怒りが止まらない	11	11	11
12. ある一時期の記憶がない	12	12	12
13. リストカットや薬の大量服用など自傷行為をする	13	13	13
14. 過食・拒食をする（摂食障がい）	14	14	14
15. アルコールの飲酒量が多い	15	15	15
16. 薬物を使用している	16	16	16
17. 体がだるい	17	17	17
18. 頭痛・肩こりがする	18	18	18
19. 腰痛がある	19	19	19
20. 耳鳴りがする	20	20	20
21. 相手から身体的な暴力を受けた部分が痛む	21	21	21
22. アトピー、アレルギー、じんましんが出る	22	22	22
23. その他（ ）	23	23	23
24. 特にない	24	24	24

問 19 問 18 の症状について治療したことがありますか。(1つに○)

1. すべての症状について治療している
2. 一部の症状について治療したことがあるが、治療していないものもある
3. 全く治療していない

問 20 (問 18 の症状について治療経験のある方) どちらで治療を受けましたか。(当てはまるもの全てに○)

- | | | | | |
|---------|----------|----------|----------|---------|
| 1. 整形外科 | 5. 神経科 | 9. 耳鼻咽喉科 | 13. 救急外来 | 17. その他 |
| 2. 外科 | 6. 心療内科 | 10. 歯科 | 14. 漢方医 | () |
| 3. 内科 | 7. 脳神経外科 | 11. 皮膚科 | 15. 鍼灸院 | |
| 4. 精神科 | 8. 眼科 | 12. 産婦人科 | 16. 接骨院 | |

問 21 (治療していない症状のある方) 治療しない理由は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

1. お金がない
2. 保険証がない
3. 保険証を使いたくない
4. 病院等に行く時間がない
5. 病院等に行くのがしんどい
6. よい病院等がない
7. その他 ()

問 22-① 相手の暴力による身体的な後遺症や、精神的疾患で、現在あなたは障害者手帳を取得していますか。(1つに○) 1. はい 2. DVの影響と関係なく手帳を持っている 3. いいえ

問 22-② 障がいの内容と、手帳の種類について教えてください。

障がいの内容 () 手帳の種類 ()

問 23 自分の現在の状態について、どう感じているか教えてください。

① 精神的に安定感・安心感があると感じていますか。(1つに○)

1. 安定・安心感がある
2. どちらかといえば安定・安心感がある
3. どちらかといえば安定・安心感がない
4. 不安定である、安心感がない

② 身体的に安定感・安心感があると感じていますか。(1つに○)

1. 安定・安心感がある
2. どちらかといえば安定・安心感がある
3. どちらかといえば安定・安心感がない
4. 不安定である、安心感がない

問 24 自分の精神と身体のために、どのようなケアをしてきましたか。(当てはまるもの全てに○)

- | | |
|--------------------------------|--|
| 1. 病院に通う | 7. DVや回復に関する書籍を読む、講座に参加するなど情報を取り入れる |
| 2. 鍼灸・整骨等に通う | 8. DV被害者支援団体等の活動に参加する |
| 3. カウンセリングを受ける | 9. その他〈例：森林浴、アロマオイル、音楽を楽しむ、絵を描く、踊る、歌うなど〉 |
| 4. マッサージを受ける | () |
| 5. 自助グループに参加する | |
| 6. インターネットを使って、DV被害当事者の仲間と交流する | |

問 25 あなたには子どもがいますか。(1つに○) 1. いる 2. いない (→問 28 へ)

問 26 子どもとの同居の状態について教えてください。(当てはまるもの全てに○)

1. 未成年の子どもと同居している
2. 成人した子どもと同居している
3. 同居していない未成年の子どもがいる
4. 同居していない成人の子どもがいる

問 27 相手と離れて暮らすようになってから、子どものことで経験したことがあれば、全てに○をつけてください。

1. 暴力をふるった相手が子どもの面会を求めて困る
2. 子どもを相手に会わせたいが、自分の安全を守りながら会わせられるのか不安に思う
3. 相手の元に子どもがいて、会いたいののに会えない
4. 子どもの精神状態が安定しない
5. 子どもが暴力的である
6. 子どもが自傷行為をする
7. 子どもが不登校である
8. 子どもの言動が、暴力をふるった相手に似ていてつらいことがある
9. 子どもに対して、自分が暴力的になってしまうことがある
10. 子どもが仕事をしていない
11. 子どもが仕事はするが、長続きしない
12. 子どもの心身が安定した
13. 自分が、子どもに対して余裕をもてるようになった
14. 子どもに支えられていると感じる
15. その他 ()
16. 特にない

問 28 現在あなたが必要としていること全てに○をつけてください。

1. 生活保護を受けたい
2. 公営住宅に入居したい
3. 仕事のために資格をとりたい
4. 資格をとるための費用を借りたい
5. 安定した収入で継続して勤めることのできる仕事に就きたい
6. カウンセリングを受けたい
7. カウンセリングの費用が高いので、安くしてほしい
8. よいカウンセラーの探し方がわからないので、情報がほしい
9. DVの影響について理解のある病院の情報がほしい
10. 暴力と回復の経験について話ができる仲間がほしい
11. 生活や回復について相談できる所がほしい
12. 保護命令の期間が短いので、長くしてほしい
13. 住民票を移動しておらず選挙で投票できないので、投票できるようにしてほしい

続く →

14. 年金や保険、税金等、行政機関に登録される名前も偽名を可能にしてほしい
15. 病院、裁判所、役所に行く時に、同伴サポートがほしい
16. 安全に子どもと会うための、また、子どもを相手に合わせるための面会センターがほしい
17. 子どものカウンセリングやセラピーのできる所の情報がほしい
18. 生活保護の母子加算を継続・増額してほしい
19. 児童扶養手当を増額してほしい
20. 保育所・学童保育所に空きがないので、子どもを預ける場所がほしい
21. 子どもの保育所や学童保育所にもっと長時間、子どもを預けたい
22. (外国籍住民の方) 安定した在留資格を得たい
23. (日本語が母語ではない方) 裁判所や病院、役所等で使える通訳制度を保障してほしい
24. その他 ()
25. 特にない

問 29 あなたと相手の性別は？ あなたの性別 () 相手の性別 ()

問 30 あなたの年齢は？ (1つに○)

1. 20歳未満
2. 20歳代
3. 30歳代
4. 40歳代
5. 50歳代
6. 60歳以上

問 31 あなたと相手の国籍は？ (1つに○)

- | | | |
|--------|-------|------------|
| あなたの国籍 | 1. 日本 | 2. その他 () |
| 相手の国籍 | 1. 日本 | 2. その他 () |

問 32 あなたが現在、同居している人は？ (子どもを除く) (当てはまるもの全てに○)

1. 自分の親
2. 自分のきょうだい
3. 親戚
4. 新しいパートナー
5. 友人
6. その他 ()
7. 同居家族はいない

質問はこれで終わりです。このアンケートの内容について、または、あなたの現状や必要としている支援について等、何でもご自由にお書きください。ご協力ありがとうございました。